

令和8年6月1日改訂

警報等発令時・災害発生時の対応について

警報等発令時・災害発生時には、児童の安全確保を最優先して次のように対応します。

① 横浜市**北部域**に、警報、Jアラートが発令されたとき

	状況	対応
登 校 前	【暴風警報】 【大雪警報】 【暴風雪警報】 【レベル4危険警報】 【レベル5特別警報】	午前6時の段階で 発令継続中 【市北部域一斉臨時休校（全日）・給食中止】 ○すぐーる配信を待たず、警報にてご判断ください。
	【レベル3警報】 等、 上記以外の警報・注意報 が発表されている。	午前6時に 解除 【基本的に通常授業・給食実施】 ○各家庭で登校の安全が確保されないと判断した場合は、登校を見合わせてください。その場合、すぐーるにてご連絡ください。欠席にはなりません。 ※臨時休校となる場合は、すぐーる配信します。
	【Jアラート発信】 （全国瞬時警報システム） 自然災害以外の警報が神奈川県を含んで発せられている。	【自宅待機、原則、休校にせず】 ○安全が確認され次第、登校を再開します。 ※必要に応じて、すぐーる配信します。
	【暴風警報】【大雪警報】【暴風雪警報】 【火山噴火降灰予報】 等発表。 【レベル4危険警報】【レベル5特別警報】 【レベル3警報】 が発令され、通常下校が難しいと判断した場合	【保護者引き渡し】及び【学校留め置き】 ○すぐーる配信、状況に応じてホームページに情報掲載します。 ※警報発令中は、保護者等に引き渡すまで学校に留め置きます。 ※遠方においででの保護者様は、児童は学校で安全に過ごしていると考え、まず身の安全を図ってください。 ※状況によっては即時配信が困難な場合があります。 ※放課後キッズクラブについては放課後キッズクラブの規則に準じます。
	【Jアラート発信】 （全国瞬時警報システム）	

② 横浜市内で、大規模地震（震度5強以上）が発生したとき及び南海トラフ地震に関して

	状況	対応
登校前	【大地震発生】 横浜市域の一箇所でも震度5強以上を観測。帰宅後、登校前の時間帯（放課後、休日、夜間等）に、震度5強以上の地震が発生した。	【全市一斉臨時休校（全日）】 ※すぐーる配信なし（配信不能が予想されるため）
	【南海トラフ地震に関する情報（臨時）】 「平常時と比べて相対的に発生するリスクが高まった」等の情報が発表された。（平成29年11月から自動的に休校となる「警戒宣言」は出ないことになりました。）	【原則、通常通り】 ○教育委員会事務局から「全市臨時休校」の指示があれば休校。 ※必要に応じて、すぐーる配信します。
登校中	【大地震発生】 横浜市域の一箇所でも震度5強以上を観測。	【全市一斉臨時休校（全日）】 ○大きな揺れが収まったら、学校に近いか家に近いかを児童自身で判断し、近い方に避難します。ご家庭でも近い方に避難するように伝えてください。
登校後	【大地震発生】 横浜市域の一箇所でも震度5強以上の地震を観測した。	【学校留め置き】 及び 【保護者引き渡し】 ※警報発令中は、保護者等に引き渡すまで学校に留め置きます。 ※遠方においででの保護者様は、児童は学校で安全に過ごしていると考え、まず身の安全を図ってください。 ※キッズクラブは開設しません。
	【レベル3警報】 【地震発生（震度5弱以下）】 ※その他、火災発生、南海トラフ地震に関する臨時情報の発表等。	状況を総合的に判断し、以下のような対応を取る可能性があります。 ・職員見守り体制による方面別下校 ・学校に留め置き、保護者へ引き渡し ※通常下校が可能であると判断した場合は、通常下校となる場合があります。 ※すぐーる配信します。

- 悪天候時にご家庭の判断によるものは、欠席・遅刻になりませんが、すぐーるにてご連絡ください。
- メール配信が殺到し、システムが混雑して配信が大幅に遅れることも考えられます。警報などの気象情報は、テレビ・ラジオ、横浜市のホームページ「防災情報」等を各家庭で確認し、判断してください。
- 登校後は、気象状況に応じて児童の安全を第一に考えた対応をします。状況によっては授業時間を切り上げ、早めに下校させる場合があります。
- メール配信サービスが不能の場合等、状況に応じて学校ホームページでお知らせすることもあります。
- 災害発生時に、電話での問い合わせはご遠慮ください。